

事前評価個表

事業名	民有林直轄治山事業	事業計画期間	平成16年度～平成35年度															
事業実施地区名 (都道府県名)	板取川地区(いたどりがわ) (岐阜県)	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 岐阜森林管理署															
事業の概要・目的	<p>当地区では、平成14年7月の台風6号に伴う記録的な豪雨により、大規模な山腹崩壊が発生、拡大するとともに、溪岸が侵食され、溪畔林が流失し、下流への土砂流出、濁水等の被害が発生した。地区内の溪流には崩壊等により生じた大量の不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨等による大規模な土砂流出、さらなる森林の荒廃の拡大が懸念されている。このため、崩壊地の復旧整備、荒廃溪流の保全を行い、下流への災害防止、水源かん養のため、森林の水土保持機能の回復を図るものである。</p> <p>当地区の復旧に当たっては、大面積の崩壊地の復旧や溪流に堆積する膨大な不安定土砂の固定等、大規模で重点的な治山対策が必要であり、本事業の実施について地元から要請されているところである。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">溪間工</td> <td style="width: 10%;">60</td> <td style="width: 10%;">基</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>山腹工</td> <td>11</td> <td>ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>護岸工</td> <td>618</td> <td>m</td> <td></td> </tr> </table>			主な事業内容	溪間工	60	基			山腹工	11	ha			護岸工	618	m	
主な事業内容	溪間工	60	基															
	山腹工	11	ha															
	護岸工	618	m															
費用対効果分析	総費用(C)	5,148,304 千円																
	総便益(B)	水源かん養便益	562,868 千円															
		災害防止便益	5,402,228 千円															
	計	5,965,096 千円																
	分析結果(B/C)	1.16																
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹斜面の荒廃状況及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊の拡大と土石流の発生等による下流への土砂流出、濁水の発生等が懸念されることから、本事業の実施による保安林機能の回復が必要である。 ・有効性： 本事業の実施により、崩壊地の復旧や溪床に堆積する土砂の安定等が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の検討に当たっては、現地に応じた効果的かつ効率的な工種・工法を用いることとされており、また、事業実施にあたってコスト縮減に努めるため、効率性は認められる。 																	